

大地申第 13 号  
2018年2月13日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社  
支社長 中村知久 殿

東日本旅客鉄道労働組合  
大宮地方本部  
執行委員長 森田勝美

## 「平成30年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ

大宮地本は、大宮支社より「平成30年3月ダイヤ改正等について」提案を受け、関係職場と議論を行ってきました。

今改正は北陸新幹線・東北新幹線の増発や、在来線では通勤時間帯の混雑緩和や接続改善など利便性の向上が目指されています。大宮支社内では栃木DCに向けて、日光線内に観光仕様の「いろは」が投入され、快適性の向上が目指されている一方、職場では片側2扉の為朝通勤帯の運行に影響を及ぼさないか懸念されています。また、車両運用については、「予備車が確保できない」などの課題が発生しており、安全で安定した車両提供に向けて十分な対策を講じなくてはなりません。京浜東北線・根岸線では、ホームドア設置駅拡大に伴い表定時分の大幅な変更や、宇都宮線においては制約解消により乗務員行路が大きく見直されます。この変化点を好機と捉え、職場からの繰り返しの要求を実現すべきと考えます。

また、労働密度が濃くなるほど働く環境を整備し、鉄道・労働の双方の安全を確保できるダイヤ改正とすべきです。従って、「安全・健康・ゆとり・働きがい」が実感でき、安全・安定輸送とサービス品質向上を目指し、下記の通り申し入れを行いますので誠意ある回答を要請します。

### 記

(運転・車掌関係)

#### 【宇都宮線関係共通】

1. 今ダイヤ改正において制約解消が行われたことにより、これまで継続して議論してきた乗務員行路等の改善点を明らかにすること。
2. 東京駅9・10番線乗務員休憩所、新宿3・4番線渋谷方詰め所の拡大・設備改善を行うこと。
3. 小金井運転区他区乗務員詰所について整備すること。またホームにある詰所を整備すること。

#### 【宇都宮運転所分会】

1. 行路数減少など大幅な変更が伴ったことにより職場が混乱したため、その根拠を明確にし、次期ダイヤ改正では改善を行うこと。
2. 乗務労働の特殊性、安全の観点から、安心・安全・働きがいのある行路作りを行うこと。また、行路作成にあたっては十分な議論時間を確保すること。

#### 【小金井運転区分会】

1. 朝・昼・夕食時間帯で徒歩時間を引くと30分または40分を切る行路があるため、改善すること。特に休日26行路については、小金井場面での食事時間を確保すること。

#### 【宇都宮車掌区分会】

1. 東武相直特急の誤乗・無札乗車防止対策の進捗について明らかにすること。なお、特に誤乗が多い日光1号を二人乗務とすること。
2. 駅・乗務員区の設定工事における現場への情報伝達について明らかにすること。
3. 205系いろは編成の運用について明らかにすること。また、運行開始前に旅客への案内・周知を行うこと。
4. 短時間勤務から短日数勤務に切り替わる乗務員の行路設定について考え方を明らかにすること。

#### 【埼京線関係共通】

1. 武蔵浦和駅、上りホーム事務室のトイレを様式化すること。
2. 新宿駅3・4番線詰所の混雑対策をすること。
3. 夕通勤時間帯のC速設定時間帯を見直すこと。
4. 渋谷駅改良工事、板橋駅電留線使用開始や相鉄線相互直通運転など大きく輸送体系が変化することから、適宜現場に情報提供し、現場の意見を反映できるようにすること。
5. 現場判断で交番順序、行路の持ち替えを出来る様にすること。

#### 【大宮運転区分会】

1. 新宿駅折り返し時間僅少列車を見直すこと。
2. 訓練車確保に伴う回送（池袋→南古谷）の設定時間を見直すこと。
3. 川越給水詰所トイレの洋式化と増設をすること。

#### 【大宮車掌区分会】

1. 女性乗務員の働きがい向上のため、池袋運輸区泊まりの行路を増設すること。

#### 【京浜東北線・武蔵野線関係共通】

1. 次期ダイヤ改正におけるクロス提示が遅れた根拠を明らかにし、働きやすい行路作成に向けて職場の意見を反映させること。
2. 公休日の次の日は、8：30以降の出勤時間を基準とすること。
3. 輸送混乱時の乗務員手配や徒歩時分を考慮した乗り継ぎ時間、食事時間を確保するとともに、長時間乗務解消に向けて通し乗務を見直すこと。さらに休養時間確保のため十分な睡眠時間を確保すること。
4. ホーム出区における準備時間について周知・教育を行うこと。
5. 横浜運輸区本区に休憩室を設置すること。また、磯子駅北行詰所にA T O S情報端末とテレスピを設置すること。
6. 回送463Aと回送774Aについて車掌を乗務させ輸送障害のリスクを低下させること。

#### 【さいたま運転区分会】

1. 交番作成は職場の特情ならびに乗務員の生活設計を最大限配慮するとともに、現場の意見を反映させること。
2. 京浜東北・根岸線乗務員基地再編成施策の目的である輸送品質向上ならびに異常時におけるB運用の早期回復・長時間乗務解消の観点から、さいたま運転区は南浦和を乗務起点とし大宮～蒲田間の乗務を基本とすること。また、蒲田駅及び南浦和駅での乗務員交代を基本とし、特に横浜運輸区を発足させた経緯に踏まえ、磯子駅での交代は行わないこと。
3. 行路ごとの拘束時間や業務量のアンバランスを解消し、終業時刻は行路順になるように作成すること。また、居流し行路については在宅休養時間確保の重要性を認識し改善すると同時に、遠距離通勤者の通勤時間も考慮し可能な限り拘束時間の短縮に努めること。

#### 【さいたま車掌区分会】

1. 車内清掃にかかる時間が付加されている時間よりも多くかかっていることから、労働時間の見直しを行うこと。
2. 女性乗務員の乗務制約解消に向けて府中本町に女性設備を整備すること。
3. 8時台の居流し行路があることから、遠距離通勤者の出勤が可能となるよう改善すること。
4. 乗務員ロッカーを旧浦和車掌区庁舎内に設置すること。

(車両センター関係)

**【車両センター関係共通】**

1. ダイヤ改正以降2018年度入場計画において、予備車がない状況になる月を区所ごとに明らかにすること。また、改修件名や車両故障により車両取りが困難な状況になっているため、予備車がない場合においては安全確保を最優先とし、運用確保のため職場に過度な負担とならないよう作業時間を確保すること。

**【小山車両センター分会】**

1. 入場や転削等車両修繕により予備車がなく2dの運休が発生しており、サービス機器故障のまま運用にしている現状もあることから、スタンバイを予備とすること。また、役物の指定に修繕を新設すること。
2. 転削機の老朽化に伴う旋盤型転削機の設置に向けた進捗状況を明らかにすること。
3. 他区所での汚物抜き取り設備および15両対応の汚物抜き取り設備を設置すること。
4. 205系車両不具合の長期修繕に伴い、色違い運用のみならず異車種が運用されている現状から、予備車の確保と交検を運用段に入れること。また、栃木DC運用における、交検・修繕・転削・清掃方法について明らかにすること。

**【小山新幹線車両センター分会】**

1. 清掃時間が偏らないよう作業実態にあった入出区とすること。
2. 新幹線ネットワークの拡充や交番検査周期延伸により、大宮支社の持つ新幹線車両メンテナンス技術の重要性が増す中で、新幹線PTの将来展望を明らかにすること。
3. 新幹線総合車両センターでの新人研修における現車訓練等、内容を充実させること。

**【川越車両センター分会】**

1. 川越線・八高線の車両置換えスケジュールを明らかにすること。また、作業実態に合わせた予備車配置とするため、埼京線の日中の池袋留置を南古谷留置とすること。
2. 相鉄乗り入れに向けたスケジュールを明らかにすること。また、工事と装置保全が計画されていることで予備車確保が困難な状況になることから、予備車を確保するとともに工事は入場時期を避けるか、車両センターでの工事の場合は定期検査等に影響の無いように計画すること。
3. E491系(EAST-i)の留置が定期的に計画されているが、車両置換えによる留置本数が増えることで対応が困難になることから、E491系の入区時間を変更すること。
4. 輸送範囲の拡大が見込まれることから、運用担当の育成及び体制を強化すること。また異常時対応による休憩時間を確保するため、運用担当を泊体制とすること。

**【さいたま車両センター分会】**

1. 乗務員基地再編成以降、入出区の持ち替えが出来なくなっているため、調整できる体制をつくること。また、以下の入出区の変更を行うこと。
  - ①平日最後の出区1815Aの緑出区を青出区に変更すること。
  - ②朝9：00～9：30の間は本線乗務員による入区とすること。
2. 平日45B（本郷台出区→1日走り→本郷台入区）→翌日41B（本郷台出区→大田→下十条入区）および夜間留置5本の固定運用を解消すること。
3. 大田運輸区構内（JETS蒲田事業所）の仕業検査を柔軟に対応できる体制を維持すること。

**【東大宮センター分会】**

1. 185系の廃車順及びE257系の運用開始までのスケジュールを明らかにすること。
2. 日中の留置状況が増えるため、役付きの無い国府津の239dを尾久留置とすること。
3. 185系A編成の交番検査後の運用を解消すること。
4. 車両不具合の対応で遠方に出動する場合、本区へ自動車を取りに行く足ロスが発生するため、東大宮センターに自動車（ミニバンクラス）1台を配置すること。
5. 小型アントを修繕線に配置すること。
6. 251系、651系の予備品を常備すること。

以上